

# 令和7年度入学生対象

別記様式1

## 主専攻プログラム詳述書

開設学部（学科）名〔教育学部第三類（言語文化教育系）多文化・グローバル教育学プログラム〕

プログラムの名称（和文）  （英文）	多文化・グローバル教育学プログラム <hr/> Program in Multicultural and Global Education
<p>1. 取得できる学位</p> <p>本プログラムが提供する学位は、学士（教育学）である。その取得には、本プログラムにおいて実施される授業科目を選択履修することによって修得する124単位を条件としている。その内訳は、教養教育36単位、専門基礎科目18単位、専門科目30単位、専門・自由選択科目32単位、卒業研究（論文）8単位である。</p>	
<p>2. 概要</p> <p>本プログラムは、教養教育課程から専門教育課程まで一貫して、原則として英語を使用した授業科目のみを履修することによって学位を取得できる。</p> <p>本プログラムでは、多文化教育、平和教育、国際開発教育を体系的に学び、国内外で平和で持続可能な多文化共生社会の創造に貢献する人材の育成を目指すものであり、特色あるカリキュラムを通して、下記のような能力を習得できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体験学習に重点を置いた学際的なカリキュラムで、地域の多様な現実と直接触れ、アイデンティティ、宗教、地域社会などの問題に対する視野を広げる。</li> <li>○平和教育や国際教育開発の観察実習などにより、地域社会や国際社会で平和の創造や持続可能な社会に向けた変化を促すために必要な、共感力、異文化間コミュニケーション能力、グローバルシティズンシップを育み、多様な背景を持つ個人間の有意義なつながりを構築し、協力する力を身につける。</li> <li>○国際バカロレア校、インターナショナル校、公立学校での観察実習や実習により、多様な教室での学習支援、インクルーシブで協働的な学習・指導、教師へのコーチング、社会参画と統合の促進などの実践的スキルを習得する。</li> <li>○ディスカッション、プレゼンテーション、プロジェクト型学習における主体的な学びを通じて、創造的な実践力を高める。</li> </ul> <p>卒業後は、英語能力を生かして、国際化が進む学校・地域社会、海外の日本人学校、NGO/NPO等において多文化共生教育や平和教育の実践を支援する仕事、国内外の国際協力機関（JICA、UNESCO、開発コンサルタントなど）において教育分野の国際協力を進める仕事を目指す。また大学院に進学して、多文化共生教育、グローバル教育、平和教育、国際教育開発・協力に関する調査・研究を行う専門家になることを目指せる。大学院人間社会科学研究科国際教育開発プログラムでは世界40か国からの留学生が7割を占め、社会経験豊富な日本人社会人学生も多く、多様性と魅力あふれる環境で研究力、実践力を磨くことができる。</p>	
<p>3. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・プログラムの到達目標）</p> <p>多文化・グローバル教育学プログラムでは、多文化共生の必要性を理解し様々な文化背景を持つ人と積極的に交流する資質を備えて、国内外の社会に広く貢献する人材を育成する。そのために以下の能力を身につけ、教育課程に定められた基準の単位数を修得した学生に対して、「学士（教育学）」の学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 強い興味関心を持って積極的に多文化共生に関り、自文化についても深く理解し発信できる。</li> <li>(2) 英語を用いた高度で実践的な異文化間コミュニケーション能力を有している。</li> <li>(3) 教養教育や専門科目を修め、多文化共生や平和な社会の本質を深く理解できる。</li> <li>(4) 多文化教育、平和教育、国際開発教育に関する専門的な認識を形成するとともに、持続可能な多文化共生社会の実現に取り組むことができる。</li> </ol>	

#### 4. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

多文化・グローバル教育学プログラムでは、プログラムが掲げる到達目標を実現させるために、次の方針のもとに教育課程を編成し、実施します。

1年次には、教養教育科目や外国語科目を履修し、専門教育の基盤づくりを行うとともにグローバル社会に貢献するための広い視野と能力を培います。また、専門基礎科目であるEducation in Multicultural Society, Introduction to Peace Education Theory, Introduction to International Educational Development等を履修し、多文化教育・平和教育・国際開発教育に関する基礎的な知識を修得します。

2年次には、教養教育科目を引き続き履修して専門教育の基盤づくりを行うとともに、Designing Curriculum for Diverse Children, Curriculum Development of Peace Education, International Educational Development and Global Partnership等の専門科目を履修し、多文化教育・平和教育・国際開発教育に関する基礎的な知識を深めます。

3年次には、Critical Peace Pedagogies, International Educational Development Project Planning and Assessment等を履修し、専門的な知識を修得します。また、観察実習科目としてExploratory Teaching Practicum, Observation of Peace Education, Observation of International Education Developmentを履修することにより教育分野において多文化共生・平和構築・国際協力を実践するための能力を高めます。

4年次には、卒業論文で、本プログラムを通して修得した専門的な知識、技能、能力を活用して独自のテーマに取り組むことで、自ら問題を発見して解決する力を培います。

上記のように編成した教育課程では、多文化共生教育、平和教育、国際開発教育を体系的に学び、講義、演習、実習等の教育内容に応じて、アクティブラーニング、体験型学習、課題探究型の授業、オンライン等も活用した教育、学習を実践します。国際バカロレア認定校、インターナショナルスクール、国際協力機関などでの観察実習やインターンシップも多数設定し、海外留学も強く推奨します。専門科目の中核は英語で行われるため、教養教育科目も工夫をすれば、英語のみで卒業ができ、英語を用いた実践力が向上します。

学修成果については、シラバスに成績評価基準を明示した厳格な成績評価と、本プログラムで設定する到達目標への到達度の2つで評価します。

#### 5. 開始時期・受入条件

プログラム開始時期は1年次である。

#### 6. 取得可能な資格

#### 7. 授業科目及び授業内容

※授業科目は、別紙1の履修表を参照すること。

※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。

#### 8. 学習の成果

各学期末に、学習の成果の評価項目ごとに、評価基準を示し、達成水準を明示する。

各評価項目に対応した科目の成績評価をS=4, A=3, B=2, C=1と数値に変換した上で、加重値を加味し算出した評価基準値に基づき、入学してからその学期までの学習の成果を「極めて優秀(Excellent)」、 「優秀(Very Good)」、 「良好(Good)」の3段階で示す。

成績評価	数値変換
S (秀: 90点以上)	4
A (優: 80~89点)	3
B (良: 70~79点)	2
C (可: 60~69点)	1

学習の成果	評価基準値
極めて優秀(Excellent)	3.00~4.00
優秀(Very Good)	2.00~2.99
良好(Good)	1.00~1.99

※別紙2の評価項目と評価基準との関係を参照すること。

※別紙3の評価項目と授業科目との関係を参照すること。

※別紙4のカリキュラムマップを参照すること。

## 9. 卒業論文（卒業研究）（位置づけ，配属方法，時期等）

3年次前期末に卒業研究に向けてのガイダンスを行う。卒業研究では，多文化・グローバル教育学プログラムの教員の指導の元で，卒業論文を作成する。

## 10. 責任体制

### (1) PDCA責任体制（計画(plan)・実施(do)・評価検討(check)・対処(action)の各責任者）

本プログラムのプログラム教員会は，主として多文化・グローバル教育学プログラムのスタッフにより構成される。プログラムの遂行上の責任は，プログラム責任者（多文化・グローバル教育学プログラム長）にある。計画・実施・評価検討・対処は，プログラム教員会が行う。

### (2) プログラムの評価

#### ○プログラム評価の観点

本プログラムでは，教育的効果と社会的効果を評価の観点にする。教育的効果では，プログラムによる学生の学習効果を判定する。社会的効果では，プログラムの学習結果の社会的有効性を評価する。

#### ○評価の実施方法

本プログラムは，上記の評価の観点にしたがい，原則として入学して4年が経過した年次にプログラム自体の成果を評価する。第1の教育的効果に関しては，本プログラムを学習した学生の到達率による評価及び，本プログラムを実施した教員グループによる総合的な評価によって行われる。

第2の社会的効果に関しては，本プログラムを学習した学生に対して出身高校での評価，観察実習先の評価，進路状況や採用者による評価，メディア・メンション等を基に実施される。

#### ○学生へのフィードバック

プログラムの評価結果はプログラム教員会において，プログラム内容の見直し，改善とともに，学生指導，各授業科目の効果を検討し，検討結果を下学年のプログラム運営・実施に反映させる。

多文化・グローバル教育プログラムにおける学習の成果  
評価項目と評価基準との関係

学習の成果		評価基準		
評価項目		極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
知識・理解	(1) 多文化教育についての理解	異文化・自文化を相対的な視点に立って理解し、変動する社会の課題を考慮しながら、多文化共生社会に向けた教育を実践するための基礎となる知識を身につけている。	異文化・自文化を相対的な視点に立って理解し、多文化共生社会に向けた教育を実践するための基礎となる知識を身につけている。	異文化・自文化を相対的な視点に立って理解することを目指した教育を実践するための基礎となる知識を身につけている。
	(2) 平和教育についての理解	平和教育に関わる理念と実践の多様性とその背景、自国及び自らの平和観の特徴を理解した上で、異なる平和教育文化を背景とする人々との平和構築に向けた教育の在り方について理解する。	平和教育に関わる理念と実践の多様性とその背景について理解する。	平和教育に関わる理念と実践について基本的知識を理解する。
	(3) 国際教育開発についての理解	開発途上国における国際教育開発・協力について、教育開発・協力研究の系譜や国際的潮流、諸課題に対する理論・概念、学問的アプローチや方法論を理解する。	開発途上国の教育問題の解決に向けた国際協力の国際的潮流と諸課題について理解することができる。	開発途上国の教育問題について、現状とその背景を理解することができる。
能力・技能	(1) グローバル課題の解決策を立案する能力	世界における自己のアイデンティティを明確にすることで、自然界やグローバル社会の課題を適切に解決できる方策を立案することができる。	自己や他者の個々の行動が、自然界やグローバル社会に対して与えている影響を分析し、課題を発見することができる。	人間の行動が、自然界やグローバル社会に対して与える影響を分析することができる。
	(2) 外国語(英語)による異文化間コミュニケーション能力・技能	外国語(英語)を活用して、効果的なコミュニケーションを行う事ができる言語及び非言語コミュニケーションに関する文化的な違いの認識に基づき、コミュニケーション・交渉・相互理解を測ることができる。	第二言語としての外国語(英語)を用いて言語及び非言語コミュニケーションに関する文化的な違いの認識に基づき、交渉を始めることができる。	第二言語としての外国語(英語)を用いて言語及び非言語コミュニケーションに関する文化的な違いを認識しているが、共通の理解を得るように交渉することはできない。
	(3) 多文化教育・平和教育・国際開発教育に関する調査・研究・プレゼンテーション能力	多文化教育・平和教育・国際開発教育に関する調査・研究を行い、その成果をまとめ、効果的なプレゼンテーションできるとともに、自らの活動等の成果やプレゼンテーションについて批判的に評価し、改善について考えることができる。	多文化教育・平和教育・国際開発教育に関する調査・研究を行い、その成果をまとめ、根拠を示しつつ説得的なプレゼンテーションができる。	多文化教育・平和教育・国際開発教育に関する調査・研究を行い、その成果をまとめて、プレゼンテーションができる。
総合的な力	(1) 持続可能な開発目標に向けて取り組む力	持続可能な開発目標に向けて、多様な視野から、様々な人々と協力して問題に取り組むことができる。	持続可能な開発目標に向けて、多様な視点から取り組むことができる。	持続可能な開発目標に向けて、問題に取り組むことができる。
	(2) 多文化教育・平和教育・国際開発教育のカリキュラム開発と実践・評価力	多文化教育・平和教育・国際開発教育に関するカリキュラムを適切に開発・実践・評価することができる。	多文化教育・平和教育・国際開発教育に関するカリキュラムをコミュニティ・学校・生徒の状況とニーズに合わせて適切に開発することができる。	多文化教育・平和教育・国際開発教育に関するカリキュラムを開発することができる。

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

専門教育に進む準備として、外国語能力(英語)を向上させるとともに、問題解決型の学習能力を身につける。また、人文社会科学系、自然科学系の多様な科目を履修し、異文化理解・自文化発信の基礎となる視点を形成する基盤となる教養を広げる。

評価項目と授業科目との関係

科目区分	授業科目名	単位数	必修・選択区分	開設期	主要授業科目	評価項目														科目中の評価項目の総加重値
						知識・理解						能力・技能						総合的な力		
						(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(1)	(2)	
						科目中の評価項目の加重値	評価項目の加重値													
教養教育科目	平和科目	2	選択必修	1				100	1											100
	大学教育入門	2	必修	1												100	1			100
	教養ゼミ	2	必修	1						100	1									100
	領域科目 人文社会科学系科目群	4	選択必修	1-4				100	1											100
	領域科目 自然科学系科目群	4	選択必修	1-4				50	1	50	1									100
	外国語科目	6	選択必修	1-2								100	1							100
	情報・データサイエンス科目	4	選択必修	1-2										100	1					100
専門基礎科目	Intercultural Communication	2	必修	1	○	100	1													100
	Education in Multicultural Society	2	必修	2	○							100	1							100
	Religion and Education	2	必修	3	○	50	1				30	1				20	1			100
	Introduction to Peace Education Theory	2	必修	2	○			100	1											100
	Technological Citizenship Education for Peace	2	必修	3	○			40	1							30	1	30	1	100
	Peace Education and Media	2	必修	4	○			40	1							30	1	30	1	100
	Introduction to International Educational Development	2	必修	2	○					100	1									100
	Global Issues and Education	2	必修	3	○					30	1	50	1			20	1			100
	Area Studies on Education in Asia and Africa	2	必修	4	○					100	1									100
専門科目	Positive Education	2	必修	2	○	60	1	40	1											100
	Teaching Practices in International Schools	2	必修	3	○	70	1									30	1			100
	Designing Curriculum for Diverse Children	2	必修	4	○	50	1											50	1	100
	School Education in Japan	2	選択必修	5		100	1													100
	Curriculum Development of Peace Education	2	必修	4	○			50	1									50	1	100
	Critical Peace Pedagogies	2	必修	5	○			50	1							20	1	30	1	100
	International Educational Development and Global Partnership	2	必修	3	○					50	1					30	1	20	1	100
	International STEM Education Development	2	必修	4	○					100	1									100
	International Educational Development Project Planning and Assessment	2	選択必修	5										40	1	30	1	30	1	100
	Exploratory Teaching Practicum	2	必修	5-6	○								30	1				70	1	100
	International Internship Orientation	1	選択必修	5										100	1					100
	Community Field Experience	2	選択必修	5												100	1			100
	International Education Internship	4	選択必修	5-6														100	1	100

科目区分	授業科目名	単位数	必修・ 選択 区分	開設期	主要授業 科目	評価項目														科目中の評 価項目の総 加重値		
						知識・理解						能力・技能						総合的な力				
						(1)		(2)		(3)		(1)		(2)		(3)		(1)			(2)	
						科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値		科目中 の評価 項目の 加重値	評価項 目中の 加重値												
専門科目	Observation of Peace Education	2	選択必修	5-6														100	1	100		
	Observation of International Education Development	2	選択必修	5-6														100	1	100		
	Multiculturalism in Japan	1	選択必修	3		100	1														100	
	Cross-cultural Negotiation I	1	選択必修	4							100	1									100	
	Cross-cultural Negotiation II	1	選択必修	4							100	1									100	
	Peace and Coexistence I	1	選択必修	3			100	1													100	
	Peace and Coexistence II	1	選択必修	3			100	1													100	
	Communicative Writing II (コミュニカティブライティングII)	2	選択必修	6							100	1									100	
	English Vocabulary Practice (英語ボキャブラリー演習)	2	選択必修	3							100	1									100	
	Anthropology of Globalization I	1	選択必修	3						100	1										100	
	Anthropology of Globalization II	1	選択必修	3						100	1										100	
	Anthropology of the Contemporary World I	1	選択必修	4						100	1										100	
	Anthropology of the Contemporary World II	1	選択必修	4						100	1										100	
	Comparative Studies of Societies and Culture I	1	選択必修	3		100	1														100	
	Comparative Studies of Societies and Culture II	1	選択必修	3		100	1														100	
	Issues in International Sociology	1	選択必修	3						100	1										100	
	Family Diversity I	1	選択必修	4		100	1														100	
	Family Diversity II	1	選択必修	4		100	1														100	
Conflict Resolution I	1	選択必修	4						100	1										100		
Conflict Resolution II	1	選択必修	4						100	1										100		
専門選択科目	Academic Reading I	1	選択必修	3							100	1									100	
	Academic Reading II	1	選択必修	3							100	1									100	
	Japanese Religious Culture I	1	選択必修	4		100	1														100	
	Japanese Religious Culture II	1	選択必修	4		100	1														100	
	Foreign Language Acquisition and Communication I	1	選択必修	4							100	1									100	
	Foreign Language Acquisition and Communication II	1	選択必修	4							100	1									100	
卒業論文	Research Methods for Multicultural and Global Education	2	必修	6	○								100	1							100	
	Graduation Thesis Seminar	2	必修	7	○								100	1							100	
	Graduation Thesis	4	必修	集中	○								50	1	20	1	30	1		100		

多文化・グローバル教育プログラムカリキュラムマップ

学習の成果 評価項目	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
多文化教育についての理解		Intercultural Communication (◎)	Religion and Education (◎)	Designing Curriculum for Diverse Children (◎)	School Education in Japan (○)			
		Positive Education (◎)	Teaching Practices in International Schools (◎)	Family Diversity I (○)				
			Multiculturalism in Japan (○)	Family Diversity II (○)				
			Comparative Studies of Societies and Culture I (○)	Japanese Religious Culture I (○)				
知識・理解 平和教育についての理解	平和科目 (○)	領域科目 人文社会科学系科目軍 (○)	領域科目 人文社会科学系科目軍 (○)	領域科目 人文社会科学系科目軍 (○)	Critical Peace Pedagogies (◎)			
	領域科目 人文社会科学系科目軍 (○)	領域科目 自然科学系科目軍 (○)	領域科目 自然科学系科目軍 (○)	領域科目 自然科学系科目軍 (○)				
	領域科目 自然科学系科目軍 (○)	Introduction to Peace Education Theory (◎)	Technological Citizenship Education for Peace (◎)	Peace Education and Media (◎)				
		Positive Education (◎)	Peace and Coexistence I (○)	Curriculum Development of Peace Education (◎)				
国際教育開発についての理解	領域科目 自然科学系科目軍 (○)	領域科目 自然科学系科目軍 (○)	領域科目 自然科学系科目軍 (○)	領域科目 自然科学系科目軍 (○)				
		Introduction to International Educational Development (◎)	Global Issues and Education (◎)	Area Studies on Education in Asia and Africa (◎)				
			International Educational Development and Global Partnership (◎)	International STEM Education Development (◎)				
グローバル課題の解決策を立案する能力	教養ゼミ (◎)		Religion and Education (◎)	Anthology of Contemporary World I (○)				
			Global Issues and Education (◎)	Anthology of Contemporary World II (○)				
			Anthology of Globalization I (○)	Conflict Resolution I (○)				
			Anthology of Globalization II (○)	Conflict Resolution II (○)				
能力・技能 外国語 (英語) による異文化間コミュニケーション能力・技能	外国語科目 (○)	外国語科目 (○)	English Vocabulary Practice (英語ボキャブラー演習) (○)	Cross-cultural Negotiation I (○)	Exploratory Teaching Practicum (◎)			
	Education in Multicultural Society (◎)		Academic Reading I (○)	Cross-cultural Negotiation II (○)	Communicative Writing II (コミュニケーションライティングII) (○)			
			Academic Reading II (○)	Foreign Language Acquisition and Communication I (○)				
				Foreign Language Acquisition and Communication II (○)				
多文化教育・平和教育・国際開発教育に関する調査・研究・プレゼンテーション能力	情報・データサイエンス科目 (○)	情報・データサイエンス科目 (○)			Community Field Experience (○)	Multicultural and Global Education (◎)		Graduation Thesis (◎)
					International Educational Development Project Planning and Assessment (○)			
					International Internship Orientation (○)		Graduation Thesis Seminar (◎)	
総合的な力 持続可能な開発目標に向けての取り組み	大学教育入門 (◎)		Religion and Education (◎)	Peace Education and Media (◎)	Critical Peace Pedagogies (◎)			Graduation Thesis (◎)
			Technological Citizenship Education for Peace (◎)		International Educational Development Project Planning and Assessment (○)			
			Global Issues and Education (◎)					
			Teaching Practices in International Schools (◎)					
多文化教育・平和教育・国際開発教育のカリキュラム開発と実践・評価力			Technological Citizenship Education for Peace (◎)	Peace Education and Media (◎)	Exploratory Teaching Practicum (◎)	Exploratory Teaching Practicum (◎)		Graduation Thesis (◎)
			International Educational Development and Global Partnership (◎)	Designing Curriculum for Diverse Children (◎)	Critical Peace Pedagogies (◎)	International Education Internship (○)		
				Curriculum Development of Peace Education (◎)	International Educational Development Project Planning and Assessment (○)	Observation of International Education Development (○)		
					International Education Internship (○)	Observation of Peace Education (○)		
				Observation of International Education Development (○)				
				Observation of Peace Education (○)				

(例) 教養科目 専門基礎 専門科目 卒業論文 (◎) 必修科目 (○) 選択必修科目 (△) 選択科目

## 多文化・グローバル教育プログラム担当教員リスト

教員名	職名	内線番号	研究室	メールアドレス
馬場 卓也	教授	6942	教育学部A棟207	takuba@
中矢 礼美	教授	6939	教育学部A棟 208	anakaya@
桑山 尚司	講師	6783	教育学部K棟 111	kuwayama@
DELAKORDA KAWASHIMA TINKA (デラコルダ カワシマ ティンカ)	講師	4328	教育学部C棟 202	tinka-delakorda@
Chang Chih-Hao (チャン チハオ)	准教授	4483	教育学部C棟 201	changch@

※E-mail アドレスは「@」のあとに、「hiroshima-u. ac. jp」を付けて送信してください。

※「082-424- (内線番号4桁) とすれば、直通電話となります。

(霞：082-257- (内線番号4桁))

(東千田：082-542- (内線番号4桁))